

新たに六十名が門をくぐる

湖南高校だより

島湖等通信
 福立高校 発行責任者
 吉田浩美 校長



平成29年度入学生 全体写真(入学式当日撮影)

四月十日(月)、本校体育館において、新入生六十名(男子三十四名、女子二十六名)が入学式を迎えました。式は、県議会議長代理の勅使河原正之議員(郡山市選出)、久下英城PTA会長、椎谷耕二同窓会長を始め、多くのご来賓がご臨席され、厳粛な雰囲気の中で執り行われました。新入生

新入生の皆さん、入学おめでとう。入学してから三週間ほどが経過したので、少しは落ち着いてきたのではないかと思います。新たな人間関係の中で、良い友達を作ることが出来るか出来ないかによってこれから高校生活は大きく左右されます。なぜならば、良い友達は、日常の生活を充実



吉田浩美 校長

真の自分を探す

さて、楽しいクラスや学校にしてくれるからです。ドイツの詩人シラーは「友情は喜びを二倍にし、悲しみを半分にする」と言いました。それでは、皆さんは良い友達とはどんな人だと考えますか。趣味が同じ人でしょうか。それとも自分の言うことを聞いてくれる人でしょうか。これらは自分にとって都合の良い人であっても、本当の友達とは言えないと思います。本当の友達がほしいのなら、その友達にとても皆さんが望ましい人でなければなりません。すなわち、良い友達がほしいのなら、あなたも自分のことだけを考えるのではなく、楽しいクラスや学校にすることが必要なのです。また、「友は得難く、失い易し」とも言われます。自分勝手な行動で、本当の友人を失ってしまうこともあります。表面的な楽しさだけでは一生を通してお互いの成長は望むこともできません。新しい年度がスタートした時期だからこそ、皆さんが勉強や運動だけでなく、人間関係を大切にして、生涯にわたる友達に会えることを願っています。真の友達を探すとすることは、皆さんにとって「真の自分を探す」ことにもつながるはずと信じています。(吉田浩美よしだひろみ・校長)

を代表して下島優奈さん(湖南中出身)が「湖南高校生としての自覚と誇りをもち、受け継がれてきた伝統を守りつつ、六十名全員が何事にも全力で挑戦するとともに、自分の夢を叶えるために精一杯努力をした」と誓いのことばの述べ、式を締めくくりました。翌日、十一日(火)には、対面式および部活動紹介が行われました。対面式では新入生代表として、磯貝和義君(湖南中出身)の挨拶



新入生挨拶



卓球部の発表

学校スローガン
「可能性の発見、自分に挑戦、夢を形に」

一学年主任からのメッセージ



1 A 担任 熊谷

新入生諸君、入学おめでとう。君たちにとっての未来は空白だ。その空白を何で埋めるかによって人生は大きく変わる。未来の空白を不安で埋める人は、安定を求めて行動する。一方で、未来の空白を希望で埋める人は、「冒険」を選ぶ。勿論、その先に待っているのは、成功とは限らない。しかし、「冒険」を選んだ人は、その失敗を決して人のせいにしたりはしない。今まで自分がやってきたことの何がけなかったのかを真剣に考える。そこに人生の学びがある。そして、その学びは、次なる成功の肥やしになる。十年後の自分の可能性をなめるな。(熊谷明彦・くまがいあきひこ・地歴公民・一年主任)



1 B 担任 染谷

PTA進路講演会

二十二日(土) PTA総会当日に阿部侑生先生をお招きし、ポジティブコミュニケーション講座を行いました。



講演会の一場面

リレートーク

↓熊谷↓渡邊大↓黒須↓尾張↓伊藤詠↓石村↓五十嵐↓?



3 A 担任 五十嵐

本校の体育館の扉には、『努力した者が成功するとは限らない。しかし、成功する者は皆努力している』というメッセージが貼ってあります。音楽家ベートーベンの言葉だそうです。努力しても必ず実を結ぶとは限らないことと同時に、成功した者はみんな必ず努力を惜しまなかったこと、成功には、努力が必要なものと伝えたかったのだと思います。

しかし、努力しても実を結ばない努力は必要なのか? どうせできないなら最初から努力する必要はないのではないかと考えてしまいます。知恵を使っ

てどうやったらより便利に物事を遂行できるだろうかと考えて生きていく動物です。その中で人間は、効率を考え、無駄を省き、より少ない努力で成功を収められるか考えます。そんな人間に、果たして努力は必要なのだろうか。スポーツの世界でも科学が導入されて、無駄なく記録を上げようとしている時代に・・・

そう考えたときにメジャーリーガーとして今でも活躍しているイチロー選手は、どうだろう? と気になるにやりました。そんなイチロー選手の努力に対する言葉が胸に突き刺さりました。皆さんに紹介します。

努力せずには何かできるようになる人のことを「天才」というのなら、僕はそうじゃない。努力した結果、何かができるようになる人のことを「天才」というのなら、僕はそうだと思う。人が僕のことを、努力もせず打てるんだと思うなら、それは間違いです。僕はいつも一生懸命プレーしていますが、今日はいい結果が出なかった。でも、だからといって後悔もしていないし、恥ずかしいとも思っていない。なぜなら、できる限りの努力をしたからです。

どんなに難しいプレーも、当然にやっつてのける。これがプロであり、僕はそれにとまらぬ努力を人に見せるつもりはありません。

準備というのは、言い訳の材料となり得るものを排除していく、そのために考え得るすべてのことをこなしていく。特別なことをするために特別なことをするのは、特別なことをするために特別なことをするのではない、特別なことをするために特別なことをする。自分のできることをとことんやってきたという意識があるかないか。それを実践してきた自分がいること、継続できたこと、そこに誇りを持つべき。

過去のつまかさねがどれだけ大事なものは、感じています。それがなければ、今の技術や精神は作られなかったのですから。

苦しいことの先に、新しいなにかが見つかると思っています。考える労力を惜しむと、前に進むことを止めてしまうことになりま

「やれることはすべてやる」それを毎日継続して行うのは一番苦しいことであり、とても大変なことである。でもそれさえちやんとしていれば、結果が出てない時でも後悔せずに満足できる。どうでしょうか。天才だと言われた人でも、より多くの努力をしてきたことがわかります。努力なくして成功に近づくことはできないのです。また、ホームラン世界記録を持つている王貞治さんは、『努力しても報われないことがあるだろう。たとえ結果に結びつかなくても、努力したということが必ずや生きてくるのではないだろう

か。それでも報われなかったら、それはまだ、努力とはいえないのではないだろうか』と言っています。とても意味の深い言葉です。

これを聞いて皆さんはどう感じたでしょうか。私も努力はとても大切なものだと思います。成功や目標を達成するために努力が不可欠です。成功や目標を掴むために惜しまない努力をしてください。これを読んで、少しでも何かを感じ取ってくれたらうれしいです。小さなことを積み重ねることが、とんでもないところに行くただひとつの道だと思えます。(五十嵐陽一・いがらしよういち・商業・3年主任)

転入されたのは小川将広教頭、佐藤道雄事務長、木村清志先生(英語)、高畑孝雄先生(理科)、佐藤桂舟先生(音楽)、喜多見薫先生(商業)、春山雅昭先生(英語)です。転入された先生方の詳しいご紹介については次号以降に掲載させていただきます。

編集後記